

高知県言語聴覚士会理事会議事録

日時 2014年7月2日 19:00~21:00

場所 高知県立療育福祉センター

出席：西田 大崎 石川 若林 横畠 山本 高野 吉村 川上 小松 山本 矢野（書記）

欠席：石川

【検討・報告事項】

1. 渉外部

- ・言語聴覚の日事業；よさこい祭りでのうちわ配布にあたり、事務局への届出は不要。うちわの図案を考案しメールで各理事の承諾後、発注する。

2. 研修部

- ・第1回研修会；新人向けに口腔ケアをDHに依頼したい。→承認。
- ・第2回研修会；基本動作について森ノ宮病院のPTに依頼したい。→再検討。患者さんの話を直接聞く機会を設けてもいいのでは？次回理事会までに理事の施設で希望を聞いてくる。
- ・第19回高知県言語聴覚学会；会場候補は須崎市立市民文化会館か高知りハ。平成27年1月25日開催予定。

3. 事務局

- ・新規申し込み2名。→承認。会報と会則を送付する。
- ・ホームページ；「会員のページ」には研修会、アンケート、お知らせ、組織図など。「理事のページ」には理事会委任状を入れる。

4. 西田会長より

- ①リハビリテーション専門職のための「これからの介護予防」研修会；平成26年8月3日（日）10:00~12:30 ソーレにて開催される。案内を会員に送付する。
- ②医療・介護サービスの提供体制改革のための新たな財政支援制度に係る事業提案；謂南病院から県へ在宅医療への取り組みが申請された。患者の栄養状態に関しての情報を得てケアマネが判断の指標とするツールの使用について。高知県医師会にバックアップが依頼され、承諾されている。歯科医師会、栄養士会、訪問看護連絡協議会などにも依頼されており、当県士会にも依頼がきた。→承認。
- ③都道府県士会連絡協議会報告
 - ・診療報酬；摂食機能療法の加算をとる施設が少ない。今後交渉の余地があるだろう。他県からの要請もある。点数アップは難しいのではないかとの話であった。介護報酬は多く出ないだろう。
 - ・代議員制度；200名に1名の割合で全国区での選挙。状況を確認するため任期は1年となった。
 - ・生涯学習；認定や条件持っている人が訓練すれば点数が高くなる方向で。
 - ・初任者研修、質を担保する制度（免許更新など）
 - ・活動支援補助金；マニュアル通りに2月10日までに、協会事務所に書類を郵送しないとお金が支払えないため、注意してほしい。
 - ・専門講座・認定講習；今年は専門講座2回。認定講習は摂食嚥下と小児で行う。
 - ・基礎講座講師養成；1月に実施予定。
 - ・広報部；情報誌への投稿を募集している。高知県から、言語聴覚の日事業の取り組みについて掲載を申し込む。
 - ・診療報酬改定に伴う実態調査；10月に実施予定。各県士会10施設程度協力をお願いしたい。→理事の属する施設を中心に選定。
 - ・県老人保健課から介護予防の市町村事業へのPOSの活用が決定し、要支援1~2の方へのアプローチを学ぶ目的で介護職対象に研修会を開催する。開催に当たりPOS合同の全国研修会が8月9日で東京で実施される。参加費無料。1名までは協会が交通費負担。厚生労働省のHPに掲載されている。→介護予防支援事業予防窓口の小松理事が参加。
 - ・自立活動充実事業；ろう学校から依頼を受け、下元さんを派遣した。
- ④PC購入；見積もりは9万円弱。ソフト購入するので、ほしいソフトがあれば西田会長にメールを。

以上

次回 平成26年8月6日（水）19:00~、県立療育福祉センターにて。